

ビューティスペシャリスト科 教育課程

区分		履修科目名	1年		2年		合計		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必修科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能	1	30			1	30
			皮膚科学	1	30			1	30
			化粧品化学			1	30	1	30
			色彩学	1	30			1	30
			ブライダル概論	1	30			1	30
			メイクアップ基礎(理論)	1	30			1	30
		実習	アロマセラピー基礎	2	60			2	60
			ネイル基礎	4	120			4	120
			メイクアップ基礎(実習)	2	60			2	60
			ヘアアレンジ基礎	1	30			1	30
			着付け			2	60	2	60
			メイクセラピー基礎	1	30			1	30
	キャリア基礎力	講義	エステ基礎	3	90			3	90
ビジネスと仕事の実践					1	30	1	30	
必修科目計			19	570	4	120	23	690	
選択必修科目	メイク分野	講義実習	メイクアップ I (理論)	1	30			1	30
			メイクアップ I (実習)	2	60			2	60
			メイクアップ II			4	120	4	120
			イメージメイク基礎	2	60			2	60
			ブライダルメイク			2	60	2	60
			撮影メイク			4	120	4	120
			コスメティック販売実習	2	60			2	60
			接客マナー実習(基礎)	1	30			1	30
			接客マナー実習(応用)			1	30	1	30
			メイクセラピー I	2	60			2	60
			メイクセラピー II			2	60	2	60
			解剖生理学 I	2	60			2	60
			解剖生理学 II			2	60	2	60
			メイクアップ総合			6	180	6	180
	小計			12	360	21	630	33	990
	ネイル分野	講義実習	ネイル I	4	120			4	120
			ネイル II	4	120			4	120
			ネイル III	2	60			2	60
			ネイル IV	2	60			2	60
			ネイル V			4	120	4	120
			ネイル VI			4	120	4	120
			ネイル VII			2	60	2	60
			ネイル VIII			2	60	2	60
			ネイル総合			6	180	6	180
	小計			12	360	18	540	30	900
	エステ分野	講義実習	解剖生理学 I	2	60			2	60
			解剖生理学 II			2	60	2	60
			解剖生理学(口述)	1	30			1	30
			エステ(ボディ)	8	240			8	240
			エステ(フェイシャル)			8	240	8	240
			エステ総合			6	180	6	180
	小計			11	330	16	480	27	810
	選択科目	トータルビューティ分野	講義実習	ヘアアレンジ応用			1	30	1
メイクアップ応用						2	60	2	60
パーツケア実習 I						1	30	1	30
パーツケア実習 II						1	30	1	30
イメージメイク応用						1	30	1	30
ビジネス基礎力分野		講義実技実習研修	サービス接遇特論	1	30			1	30
			基本 IT 技術			1	30	1	30
			キャリアデザイン	1	30			1	30
			プレゼンテーション			1	30	1	30
			硬筆書写	1	30			1	30
			論理的思考力基礎	1	30			1	30
			ビジネス英語			1	30	1	30
			ビジネスマネジメント			1	30	1	30
			インターンシップ I			1	30	1	30
			インターンシップ II			1	30	1	30
			サロン運営 I			2	60	2	60
			サロン運営 II			2	60	2	60
			サロン運営 III			2	60	2	60
			イベントプロデュース	1	30			1	30
			企業研究	1	30			1	30
ボランティア活動 I	1	30			1	30			
ボランティア活動 II			1	30	1	30			
ソーシャルメディア活用概論			1	30	1	30			
選択科目計			7	210	20	600	27	810	
総計(必修+選択必修+選択)			メイク分野	38	1,140	45	1,350	83	2,490
			ネイル分野	38	1,140	42	1,260	80	2,400
			エステ分野	37	1,110	40	1,200	77	2,310

卒業要件資格

・エステティック分野選択者： 国際エステティック連盟(INFA)ボディパスポート試験

・メイクアップアドバイザー分野選択者： JMA日本メイクアップ技術検定試験2級、メイクセラピー検定2級

・ネイリスト分野選択者： JNA日本ネイリスト技能検定試験2級 JNAジェルネイル技能検定試験初級

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※卒業の要件: 必修科目23単位(690時間)及び選択必修科目と選択科目合わせて39単位(1170時間)以上、計62単位(1860時間)以上の履修

2023年度シラバス

科目名 ¹	人体の構造と機能		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年 ³	I学年	
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 解剖生理学の基礎を教授する。当該内容はエステ、ネイル、メイクの施術の際に役立つ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、卒業後に必要な知識を習得する科目。解剖生理学の基礎を習得する。(人体の構造及び機能について簡単に説明することができる)日々学習を継続することができる。健康や美しさを維持するための基礎知識を習得する。							
受講条件	13 YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること							
教科書名	14 該当なし			教材名 ¹⁵	15 教科書以外に使用する参考書、市販本、オリジナルPowerPointなどのタイトル名/著者名/発行元/発行日/改版/関連頁など			
設備名・機器名	16 実習機器名・実験機器名・素材名・動物名など			関連サイト ¹⁷	17 参考となる引用、関連するページタイトル/URL			
関連前科目	18 該当なし			関連後科目 ¹⁹	19 解剖生理学 I			
20 授業計画 (授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第 回	○月○日	各回(コマ)同じ主題(タイトル)としない。	記入要領:書体B12 UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×2行までに収めること。			正式な名称を記述する。		
第1回	4月15日	解剖生理学とは	オリエンテーション。解剖生理学を学ぶ目的、役割を理解する			オリジナルPowerPoint		
第2回	4月	細胞とは	細胞とは何かを学ぶ			オリジナルPowerPoint		
第3回	5月13日	組織・器官・系統 骨格系統1	組織・器官・系統とは何かを学ぶ 骨の名称、位置、働きを学ぶ			オリジナルPowerPoint		
第4回	5月20日	骨格系統2	骨の細胞と成長			オリジナルPowerPoint		
第5回	5月27日	筋肉系統1	筋肉の名称と位置、働きを学ぶ			オリジナルPowerPoint		
第6回	6月3日	筋肉系統2	筋肉の名称と位置、働きを学ぶ			オリジナルPowerPoint		
第7回	6月10日	消化器系統1	消化器の構造と働きを学ぶ			オリジナルPowerPoint		
第8回	6月17日	消化器系統2 栄養素	消化器の構造と働きを学ぶ 3大栄養素・ビタミン・ミネラル・カロリー・基礎代謝			オリジナルPowerPoint		
第9回	6月24日	呼吸器 循環器1(血液)	呼吸について学ぶ 循環器について学ぶ(血液成分・働き・循環経路・静脈・動脈・毛細血管)			オリジナルPowerPoint		
第10回	7月1日	循環器2(リンパ)	リンパについて学ぶ リンパとは何か、リンパの流れ			オリジナルPowerPoint		
第11回	7月8日	排泄器	排泄器について学ぶ 腎臓・尿管・尿の生成について学ぶ 腎臓の病気について			オリジナルPowerPoint		
第12回	7月15日	神経系	神経系の基本知識を学ぶ 大脳と神経の伝導・自律神経について			オリジナルPowerPoint		
第13回	7月22日	内分泌1	ホルモンについて学ぶ 作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類			オリジナルPowerPoint		
第14回	7月29日	内分泌2 解剖生理学まとめ	ホルモンについて学ぶ 作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類 1~14回の授業を復習し理解度を高める			オリジナルPowerPoint		
第15回	8月5日	成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標 筆記試験(選択問題・記述問題を解くことができる)			オリジナル試験問題		
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按じし総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				30	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹縄恵理	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	竹縄恵理		
					実務経験紹介	https://www.youtube.com/watch?v=9G11b09a3R2 http://beauty.ac.jp/voice/%e3%81%8a%e5%ae%a2%e6%a7%98%e3%81%ab%e9%81%b2%e3%81%b0%e3%82%8c%e3%80%81%e5%96%9c%e2%8		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)			
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	皮膚科学		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般の生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について教授する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける 皮膚のトラブルの種類とその対処法を学び現場でお客様に的確にアドバイスすることができる知識を身につける							
受講条件 ¹³	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること							
教科書名 ¹⁴	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント			
設備名・機器名 ¹⁶	該当なし			関連サイト ¹⁷	日本皮膚科学会HP https://www.dermatol.or.jp/			
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	解剖生理学 I			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	皮膚の概要	皮膚の概要、美しい肌の条件を理解する				YIC京都オリジナル教材	
第2回	4月23日	皮膚の構造(1)	皮膚の表面と断面について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第3回	5月7日	皮膚の構造(2)	表皮の構造と役目について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第4回	5月14日	皮膚の構造(3)	真皮の構造と役目について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第5回	5月21日	皮膚の構造(4)	皮下組織の構造と役目について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第6回	5月28日	皮膚付属器官の構造	汗腺・皮脂腺・毛・爪の構造について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第7回	6月4日	皮膚の生理機能(1)	第1回から第6回までの確認テスト・皮膚の生理機能7つについて理解する				YIC京都オリジナル教材	
第8回	6月11日	皮膚の生理機能(2)	皮膚の生理機能7つについて理解する				YIC京都オリジナル教材	
第9回	6月18日	紫外線と皮膚	紫外線と皮膚への影響について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第10回	6月25日	皮膚疾病(1)	ニキビ・ストレスと皮膚について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第11回	7月2日	皮膚疾病(2)	シミの種類とスキンケアについて理解する				YIC京都オリジナル教材	
第12回	7月9日	月経周期と皮膚	月経周期と皮膚への影響について理解する				YIC京都オリジナル教材	
第13回	7月16日	皮膚科学まとめ(1)	第7回から第12回までの確認テスト・第1回から第12回の授業総復習グループワーク(発表準備)					
第14回	7月23日	皮膚科学まとめ(2)	第1回から第12回の授業総復習グループワーク(発表)					
第15回	7月30日	成績判定試験	筆記試験					
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
出席率80%以上及び ①成績判定試験：筆記試験(選択問題・記述問題) ②確認テスト、中間テスト及び小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する ④作品 グループで1単元の発表資料の作成、発表ができる 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト		1位	2位				30	優(A):89点~80点
③授業態度				2位	1位		10	良(B):79点~70点
④作品・発表		2位				1位	10	可(D):69点~60点
								不可(E):59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	福本真弓			
				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beautv.ac.jp/voice/fukumoto/			
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16.YIC京都 校長

科目名 ¹	化粧品化学		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年	
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	日本化粧品検定2級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 化粧品の科学的基礎知識を学ぶ。化粧品の成分、使用目的、安全性、原料や性状を理解しお客様のニーズに合わせてご提案できるための知識を教授する								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 日本化粧品検定2級合格相当の知識を身に付ける 化粧品の成分や働きを理解し、目的に合った使い方が出来るようになる。								
受講条件	13. Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること								
教科書名	14. 日本化粧品検定 2級対策テキスト コスメの教科書 A5版【第3版】日本化粧品検定 2級対策問題集 A5判			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint				
設備名・機器名	16. 投影用プロジェクター設備/PC			関連サイト ¹⁷	https://cosme-ken.org/				
関連前科目	18. 人体の構造と機能、皮膚科学、アロマセラピー基礎			関連後科目 ¹⁹	メイクアップ総合/ネイル総合/エステ総合				
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	4月14日	オリエンテーション	オリエンテーション 現在の知識の復習、習得度を把握する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第2回	4月21日1限	2級試験対策Ⅰ※特別講師	肌タイプの見分け方・肌悩みの原因とお手入れ方法				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第3回	4月21日	2級試験対策Ⅲ※特別講師	肌を劣化させる様々な要因について理解する 紫外線が肌に与える影響について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第4回	4月28日1限	2級試験対策Ⅲ※特別講師	肌を劣化させる様々な要因について理解する 紫外線が肌に与える影響について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第5回	4月28日	2級試験対策Ⅳ※特別講師	効果的なマッサージの必要性和方法について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第6回	5月12日1限	2級試験対策Ⅴ※特別講師	美しい肌を作る生活習慣について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第7回	5月12日	2級試験対策Ⅵ※特別講師	模擬試験 日本化粧品検定2級の内容を把握し、答えることができる				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
第8回	5月19日	2級試験対策Ⅶ	模擬試験 日本化粧品検定2級の内容を把握し、答えることができる				オリジナル教材		
第9回	5月25日(日)2限	日本化粧品検定2級試験	日本化粧品検定2級試験実施				オリジナル教材		
第10回	5月26日	化粧品化学Ⅰ	化粧品の原料・界面活性剤について理解する				オリジナル教材		
第11回	6月2日	化粧品化学Ⅲ	スキンケアアイテム・メイクアップの原料・成分について学ぶ、クラフト作成				オリジナル教材		
第12回	6月9日	化粧品化学Ⅳ	ネイル・ヘアケア・ボティケアの基礎知識・原料・成分について理解する クラフト作成				オリジナル教材		
第13回	6月16日	化粧品について	法律・広告やPR・化粧品を安全に使うための基礎知識を習得する				オリジナル教材		
第14回	6月23日	総復習	1～12回の授業総復習				オリジナル教材		
第15回	7月7日	成績判定試験	選択問題・記述問題						
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。									
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題)試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする									
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点		
②確認テスト	2位	2位				20	優(A):89点~80点		
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点		
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点		
⑤作品						なし	不可(E):59点以下		
⑥プレゼンテーション						なし			
上記の判定方法がどの観点到るものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験1回	
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	武田周子・奥谷千晴 https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/%e3%81%93%e3%81%ae%e6%a5%ad%e7%95%8c				
更新履歴									
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Checker(確認者)			
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ基礎(理論)		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ知識検定試験ベーシック	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 メイクアップの知識及びスキンケアの基礎知識を教授する。 当該内容は現場での接客、施術の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 当該科目の教育課程における位置づけは原則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識を習得する科目。 日本メイクアップ知識検定試験ベーシック合格相当の知識を身に付ける メイクアップの基礎知識を習得する							
受講条件	13 YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	14 (25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト /日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集			教材名 ¹⁵	15 オリジナルプリント			
設備名・機器名	16 該当なし			関連サイト ¹⁷	17 一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/			
関連前科目	18 該当なし			関連後科目 ¹⁹	19 メイクアップI(理論)			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	オリエンテーション	授業のルール、授業の目標、検定内容について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第2回	4月23日	顔のパーツの名称 メイクアップツール	顔のパーツの名称及び基本のパーツバランスについて覚える メイクアップツールの使い方について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級3級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第3回	5月7日	顔分析・肌分析	自分の顔のパーツバランスを知る 肌のタイプ別特徴を理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級4級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第4回	5月14日	スキンケアの基本	スキンケアの基礎知識を理解する、スキンケアアイテムのそれぞれの役割を理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級5級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第5回	5月21日	メイクアップ基礎理論	メイクアップの効果、色彩の基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級6級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第6回	5月28日	ベースメイク理論	ベースメイクアイテムのそれぞれの役割について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級7級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第7回	6月4日	ポイントメイク理論I	ハイライト、ローライト、チーク、リップの基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級8級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第8回	6月11日	ポイントメイク理論II	アイブロウ、アイメイクの基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級9級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第9回	6月18日	修整メイクアップI	顔型、顔バランスの修整方法について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級10級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第10回	6月25日	修整メイクアップII	目元、眉、口元の修整方法について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級11級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第11回	7月2日	検定対策I	1~10回の授業内容を復習し理解度を高める				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級12級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第12回	7月9日	検定対策II	模擬試験実施 日本メイクアップ知識検定ベーシック合格基準を満たすことが出来る				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級13級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第13回	7月16日	日本メイクアップ知識検定試験ベーシック	検定試験実施				一般社団法人JMA試験問題	
第14回	7月23日	期末試験対策	期末試験のポイントを理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級13級 公式テキスト/日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第15回	7月30日	期末試験	期末試験実施 筆記試験:選択問題80問実施				オリジナルプリント	
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題60・記述式問題20) 設問80問(満点100点)・試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法、該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100~90点
②確認テスト		1位	2位				20	優(A):89~80点
③課題レポート							なし	良(B):79~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	渡辺幸美・奥谷千晴			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/%e3%81%93%e3%81%ae%e6%a5%ad%e7%95%8c			
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ基礎（実習）		学科名 ² （コース名）	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ技術検定試験3級	
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）	メイクアップ基礎技術、道具の扱い方、身だしなみ、お客様への声掛け等を教授する 当該内容は卒業後の印象管理、接客、施術の際に役立つ							
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）	当該科目の教育課程における位置づけは学期上の卒業要件を定めることとし、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 日本メイクアップ技術検定試験3級合格相当の技術を身に付ける メイクアップ技術の基本を身に付け、相モデルでポイントメイククレンジング～ベースメイク基本、リクルートメイクの基本を身に付ける							
受講条件 ¹³	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名 ¹⁴	（25年度改訂版）日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト			教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式			
設備名・機器名 ¹⁶	該当なし			関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/			
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	メイクアップⅠ（実習）			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								20.
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	オリエンテーション	授業のルール、目標、検定試験について理解する				メイク道具一式 25年度改訂版）日本メイクアップ技術 検定試験3級2級 公式テキスト	
第2回	4月16日	メイクアップ道具について	メイクアップ道具の検品、用具の名称、セッティングについて理解する					
第3回	4月23日	セッティング	メイクアップ道具のセッティングの復習をする					
第4回	4月23日	スキンケア実習Ⅰ	ポイントクレンジングの手法、手順を理解する					
第5回	5月7日	スキンケア実習Ⅱ	全体クレンジング、化粧水、乳液の手法、手順を理解する					
第6回	5月7日	スキンケア実習Ⅲ	相モデルで全体クレンジング、化粧水、乳液の施術ができる					
第7回	5月14日	ベースメイク実習Ⅰ	メイクアップベース、コントロールカラー、ファンデーションの手法、手順を理解する					
第8回	5月14日	ベースメイク実習Ⅱ	相モデルでメイクアップベース、コントロールカラー、ファンデーションの施術ができる					
第9回	5月21日	ベースメイク実習Ⅲ	コンシーラー、フェイスパウダーの手法、手順を理解する					
第10回	5月21日	ベースメイク実習Ⅳ	相モデルでコンシーラー、フェイスパウダーの施術ができる					
第11回	5月28日	ポイントメイク実習Ⅰ	チーク、ローライト、ハイライトの手法、手順を理解する					
第12回	5月28日	ポイントメイク実習Ⅱ	相モデルでチーク、ローライト、ハイライトの施術ができる					
第13回	6月4日	チークのバリエーション	チークのバリエーションを増やすことができる					
第14回	6月4日	3級試験対策Ⅰ	3級試験課題所定の時間内で施術することができる					
第15回	6月11日	3級試験対策Ⅱ	3級試験課題を30分で施術することができる（施術者）					
第16回	6月11日	3級試験対策Ⅲ	3級試験課題を30分で施術することができる（被施術者）					
第17回	6月18日	3級試験対策Ⅳ	模擬試験実施 到達目標：日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる（施術者）					
第18回	6月18日	3級試験対策Ⅳ	模擬試験実施 到達目標：日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる（被施術者）					
第19回	6月25日	日本メイクアップ技術検定3級試験	日本メイクアップ技術検定3級試験実施（施術者）					
第20回	6月25日	日本メイクアップ技術検定3級試験	日本メイクアップ技術検定3級試験実施（被施術者）					
第21回	7月2日	フルメイク実習Ⅰ	宝塚メイクの特徴を理解し、相モデルで施術することができる（施術者）					
第22回	7月2日	フルメイク実習Ⅱ	宝塚メイクの特徴を理解し、相モデルで施術することができる（被施術者）					
第23回	7月9日	フルメイク実習Ⅳ	リクルートメイク（成績判定試験課題）の特徴を理解し、施術することができる（施術者）					
第24回	7月9日	フルメイク実習Ⅴ	リクルートメイク（成績判定試験課題）の特徴を理解し、施術することができる（被施術者）					
第25回	7月16日	フルメイク実習Ⅵ	トレンドメイクの特徴を理解し、施術することができる リクルートメイク（成績判定試験）練習（施術者）					
第26回	7月16日	フルメイク実習Ⅶ	トレンドメイクの特徴を理解し、施術することができる リクルートメイク（成績判定試験）練習（被施術者）					
第27回	7月23日	成績判定試験対策	リクルートメイク（成績判定試験課題）実施（施術者） 合格基準を満たすことができる					
第28回	7月23日	成績判定試験対策	リクルートメイク（成績判定試験課題）実施（被施術者） 合格基準を満たすことができる					
第29回	7月30日	成績判定試験	実技試験 リクルートメイク50分 相モデルで実施（施術者）					
第30回	7月30日	成績判定試験	実技試験 リクルートメイク50分 相モデルで実施（被施術者）					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
出席率80%以上及び ①成績判定試験 実技試験 リクルートメイク50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分％で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				20	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認者			授業担当教員	渡辺 幸美・奥谷 千晴・福本 真弓	
						実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/	
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所			作成者	Check者（確認者）	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16 YIC京都 校長

科目名 ¹	ヘアアレンジ基礎		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年	
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	ヘアアレンジの基礎知識と技術、道具の扱い方、セルフヘアセットまでを教授する 当該内容は現場での印象管理の際に役立つ								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術として位置付ける。 身だしなみのためのセルフヘアセット技術を身に付ける ウィックを使用し編み込みを取り入れたオリジナルのヘアアレンジの習得								
受講条件 ¹³	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。								
教科書名 ¹⁴	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント				
設備名・機器名 ¹⁶	ヘアアイロン用電気設備 (コンセント)			関連サイト ¹⁷	https://www.biteki.com/hair/hair-arrange/369907				
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	撮影メイク・ブライダルメイク				
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	4月14日	オリエンテーション	道具の種類と使用方法について理解する				ヘアアレンジ道具一式		
第2回	4月21日	セルフヘアセット基礎Ⅰ	夜会巻きのセルフヘアセットの方法について理解する セルフでのヘアアイロンの使い方、巻き方の基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第3回	4月28日	セルフヘアセット基礎Ⅱ	セルフで夜会巻きが出来る				ヘアアレンジ道具一式		
第4回	5月12日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅰ	ブラッシング、ブロッキング、ピンニングを習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第5回	5月19日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅱ	ゴムの結び方、根留め(土台)、逆毛の技法を習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第6回	5月26日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅲ	一束(すき毛あり・すき毛なし等)にまとめることができる				ヘアアレンジ道具一式		
第7回	6月2日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅳ	三つ編みの表編み、裏編みの基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第8回	6月9日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅴ	フィッシュボーン、ロープ編みの基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第9回	6月16日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅵ	ホットカーラーの巻き方の基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第10回	6月23日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅶ	ヘアアイロンの注意点、基本の巻き方について理解する				ヘアアレンジ道具一式		
第11回	6月30日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅷ	四編みを習得する				ヘアアレンジ道具一式		
第12回	7月7日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅸ	各セクションより髪をすくい取り編み込みのヘアアレンジができる				ヘアアレンジ道具一式		
第13回	7月14日	アップスタイルの創作	編み込みを取り入れたオリジナルヘアアレンジを創作することができる				ヘアアレンジ道具一式		
第14回	7月28日	ヘアアレンジまとめ	セルフ夜会巻き、オリジナルヘアアレンジを50分で作成することができる				ヘアアレンジ道具一式		
第15回	8月4日	成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標: 50分でセルフ夜会巻きと試験課題ヘアアレンジの作成することができる				ヘアアレンジ道具一式		
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹									
出席率80%及び 成績判定試験: 50分でセルフ夜会巻きと試験課題ヘアアレンジの作成 授業態度: 提出物及び出席状況を評価する 作品: 課題作品を全体の評価に反映する									
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験	2位				1位	70	秀(S): 100点~90点		
②確認テスト						なし	優(A): 89点~80点		
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点		
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点		
⑤作品	2位				1位	10	不可(E): 59点以下		
⑥プレゼンテーション						なし			
上記の判定方法がどの観点到るものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	田村綾加・小林昌子				
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kobayashi/				
更新履歴									
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)					
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2023年度シラバス

科目名 ^{1.}	メイクセラピー基礎		学科名 ^{2.} (コース名)	ビューティスペシャリスト科(昼)			学年	1学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	2025年4月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	メイクセラピー検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11.メイクセラピーの手法、メイクによる心理的効果、スキンケア、メイクアップの基本を教授する。 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12.当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 13.メイクセラピー検定3級合格相当の知識を身に付ける。 メイクアップの基本を習得し、印象を変えるセルフメイクができる。							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	14.メイクセラピー入門(3級対策)/若井結美子/一般社団法人メイクセラピ ストジャパンメイクセラピー検定事務局/2019年10月1日/第5版第1刷/1 頁~64頁			教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント/メイク道具			
設備名・機器名	16.教材投影用プロジェクター・PC(講師用)			関連サイト ^{17.}	17.メイクセラピー検定 https://www.maketherapy.com/			
関連前科目	18.該当なし			関連後科目 ^{19.}	19.メイクセラピー I			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月18日	メイクセラピーとは	オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第2回	4月25日	メイクセラピーの手法について	メイクセラピーの流れ、カウンセリングの必要性について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第3回	5月9日	顔と心と化粧の関係	表情と感情の関係について理解する 化粧をする理由について考える				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第4回	5月16日	スキンケア概論	肌タイプの特徴と基礎化粧品の目的と使用方法について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第5回	5月23日	カウンセリング概論	カウンセリングの意義、基本テクニックについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第6回	5月30日	カウンセリング実習	傾聴スキルを用いたカウンセリング実習 傾き、相槌をしながら会話をすることができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第7回	6月6日	メイクアップ概論 I	パーツバランスによって与える印象の違いについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第8回	6月13日	メイクアップ概論 II	色彩学の概要について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第9回	6月20日	メイクアップ概論 III	ポイントメイクの色、形、質感によって与える印象の違いについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第10回	6月27日	セルフメイク実習	キャリア系、癒し系の印象にセルフメイクができる				メイク教材一式 メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第11回	オンデマ ンド課題	セルフメイク実習 II	メイクカルテを作成し、メイクのポイントについて説明することができる 練習問題を解き、現時点での理解度、習得度を把握することができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第12回	7月4日	3級試験対策 II	3級試験模擬試験で合格基準を満たすことができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第13回	7月11日	メイクセラピー検定3級試験	メイクセラピー検定3級試験実施 到達目標:メイクセラピー検定3級合格				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第14回	7月18日	メイクセラピーまとめ	1~13回の授業を復習し理解度を高める				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint	
第15回	7月25日	成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標:筆記試験(選択問題、記述式問題)を解くことができる				オリジナル試験問題	
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 設問数73問(満点100点)・試験時間50分 ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)とそれに伴う活用場面について100文字以上記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		1位	2位				20	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	山根大助		授業担当教員	福本 真弓		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16_YIC京都_校長

科目名 ¹	ビジネスと仕事の実践		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	社会人基礎力・ビジネスマナー・サロン運営について教授する 当該内容は社会人としての振る舞いに役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学期上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 社会人として必要な基礎知識を身に付け、ビジネス感覚を養う 個人サロンの考案、企画、プレゼンテーションができる							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること							
教科書名 ¹⁴	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント			
設備名・機器名 ¹⁶	投影用プロジェクター/PC (講師用)			関連サイト ¹⁷				
関連前科目 ¹⁸	プライダル概論、サービス接遇特論			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅰ、サロン運営Ⅱ、ソーシャルメディア活用概論			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する 仕事と作業について理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	5月19日	ビジネスマナーⅠ	基本的なビジネスマナーについて説明することができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	5月26日	ストレスについて	ストレスについて理解し、体調管理やストレスマネジメントに活かすことができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	6月2日	クレーム対応Ⅰ	クレーム発生メカニズムについて理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	6月9日	クレーム対応Ⅱ	クレーム発生への対応について理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	6月16日	プレゼンテーションⅠ	プレゼンテーションの目的について理解する※確認テスト				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	6月23日	プレゼンテーションⅡ	序論・本論・結論の構成で商品のプレゼンテーションができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	6月30日	お金と仕事Ⅰ※特別講師	家計管理、給与明細の見方について理解する				SMBC様オリジナルプリント・オリジナルPowerPoint	
第9回	6月30日	お金と仕事Ⅱ※特別講師	ローン、クレジットについて理解する				SMBC様オリジナルプリント・オリジナルPowerPoint	
第10回	7月7日	サロン考案Ⅰ	サロン運営について理解する※確認テスト				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	7月14日	サロン考案Ⅱ	個人サロンの事業計画書が作成できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	オンデマンド課題	サロン考案Ⅲ	個人店のチラシを作成することができる					
第13回	7月28日	プレゼンテーションⅢ	個人サロンのプレゼンテーションが出来る (成績評価)					
第14回	7月28日	プレゼンテーションⅣ	個人サロンのプレゼンテーションを聞き評価することができる					
第15回	8月4日	成績判定試験	成績判定試験実施					
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
出席率80%以上及び ①成績判定試験: 筆記試験 (選択問題・記述問題) ①記述式問題: 授業内で出てきたワード (専門用語) を記入すること ②確認テスト: 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度: 提出物及び授業への出席状況の評価する ⑤プレゼンテーション: 序論・本論・結論でストーリーが組み立てられているか 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				10	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション			2位			1位	20	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本 真弓		シラバス承認者			授業担当教員	福本 真弓	
						実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/	
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2023年度シラバス

科目名 ¹	メイクセラピーⅠ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース		学年	3学年
授業形態 ⁴	講義実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	メイクセラピー検定2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11.化粧法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」及びメイクセラピーの概念を教授する 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12.当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定2級合格相当の知識を身に付ける。 会話をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップができる						
受講条件	13.Y I C京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクセラピー基礎履修済み						
教科書名	14.メイクセラピー検定2級対策			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名	16.投影用プロジェクター/講師用PC			関連サイト ¹⁷	17.メイクセラピー検定ホームページ https://www.maketherapy.com/		
関連前科目	18.メイクセラピー基礎			関連後科目 ¹⁹	19.メイクセラピーⅡ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回		オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第2回		メイクセラピー的心理学1	精神分析と無意識について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第3回		メイクセラピー的心理学2	論理療法、交流分析について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第4回		メイク実習1	キャリア系or癒し系の印象にメイクすることができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第5回		化粧品心理学1	化粧の歴史、役割、印象分析について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第6回		メイク実習2	遠心メイク、求心メイクについて理解する			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第7回		化粧品心理学2	承認欲求について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第8回		メイク実習3	知的で大人っぽく仕事ができる印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第9回		カウンセリング概論	クライアントとの接し方について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第10回		メイク実習4	上品で優しく女性らしい印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第11回		印象分析	印象分析、パーツバランスについて理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第12回		メイク実習5	明るく健康的で元気な印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第13回		メイクアップに必要な3要素	色彩、コスメティックスの質感が与える印象について理解する			メイクセラピー検定2級対策	
第14回		メイク実習6	華やかでエレガントな印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第15回		2級試験対策1	論述問題の出題傾向を把握する			メイクセラピー検定2級対策	
第16回		2級試験対策2	2級試験課題が時間内に施術することができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第17回		2級試験対策3	筆記試験の出題傾向を把握することができる			メイクセラピー検定2級対策	
第18回		2級試験対策4	苦手オーダーの課題が克服することができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第19回		2級試験対策5	筆記試験の出題傾向を把握することができる(第17回の課題点の改善)			メイクセラピー検定2級対策	
第20回		2級試験対策6	苦手オーダーの課題が克服することができる(第18回の課題点の改善)			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第21回		模擬試験1	2級試験通し(筆記試験)			メイクセラピー検定2級対策	
第22回		模擬試験2	2級試験通し(実技試験)			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第23回		メイクセラピー検定試験1	メイクセラピー検定2級試験実施(筆記試験)				
第24回		メイクセラピー検定試験2	メイクセラピー検定2級試験実施(実技試験)			メイク道具一式	
第25回		メイクセラピー実習1	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリングまでできる(施術者)			メイク道具一式	
第26回		メイクセラピー実習2	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリングまでできる(被施術者)			メイク道具一式	
第27回		成績判定試験対策1	1～26回の授業の復習ができる			メイクセラピー検定2級対策	
第28回		成績判定試験対策2	会話をしながらオーダーに伴ったメイクアップが半顔にできる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式	
第29回		成績判定試験1	成績判定試験:筆記試験(選択問題、記述問題、論述問題)				
第30回		成績判定試験2	成績判定試験:実技試験 会話をしながらオーダーに伴ったメイクアップ半顔にできる				
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							21.
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)とそれに伴う活用場面について記述すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
							成績評価基準

2023年度シラバス

①成績判定試験	1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				20	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本 真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本 真弓
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクセラピーⅡ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	メイクセラピー検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 心理学を応用したカウンセリング技術、傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップ技術を教授する 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定1級合格相当の知識を身に付ける。 傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップができる							
受講条件	13 Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること							
教科書名	14 メイクセラピー検定1級対策第2版				教材名	15 オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント インサイドヘッドDVD		
設備名・機器名	16 投影用プロジェクター/PC				関連サイト	17 https://www.maketherapy.com/about		
関連前科目	18 メイクセラピーⅠ				関連後科目	19 メイクアップ総合		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月17日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第2回	4月17日	感情について	メイクセラピーⅠの復習ができる※DVD視聴 感情の役割について理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第3回	4月24日	カウンセリング1	カウンセリングの目的、自己理解と他社理解について理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第4回	4月24日	メイク実習1	職業に合わせたオーダーのメイクが施術できる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第5回	5月8日	傾聴スキル1	コミュニケーション、傾聴スキルを用いて会話ができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第6回	5月8日	メイク実習2	傾聴スキルを用いて会話をしながら半顔メイクができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第7回	5月15日	傾聴スキル2	要約・沈黙の処理・質問について学び、会話の中で意識的に使えるようになる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第8回	5月15日	メイク実習3	カウンセリングをしながら半顔メイクができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第9回	5月22日	傾聴スキル3	IメッセージとYOUメッセージを会話の中で使い会話ができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第10回	5月22日	傾聴スキル4	フィードバック、フォローができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第11回	5月29日	対話分析	逐語録からカウンセリングの状況について理解する※確認テスト	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第12回	5月29日	メイク実習4	オーダーに伴ったメイクが半顔に施術できる※確認テスト	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第13回	6月5日	メイクセラピー実習1	オーダーカウンセリング～メイクアップまでができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第14回	6月5日	メイクセラピー実習2	メインカウンセリング～フォローカウンセリングまでができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第15回	6月12日	1級試験対策1	筆記試験、実技試験の出題のポイントを理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第16回	6月12日	1級試験対策2	1級試験課題を通して実施する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第17回	6月19日	1級試験対策3	対話分析、論述問題の課題点の発見をする	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第18回	6月19日	1級試験対策4	苦手オーダー、課題点の発見、修整を行う	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第19回	6月26日	1級試験対策5	1級試験の注意点について理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第20回	6月26日	1級試験対策6	1級試験課題出題傾向を把握し、メイクアップができる	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第21回	7月3日	1級試験対策7	筆記試験対策1、出題傾向の把握と解説を理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第22回	7月3日	1級試験対策8	実技試験対策2 オーダーに伴ったメイクアップを実施する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第23回	7月10日	1級試験対策9	筆記試験対策1、出題傾向の把握と解説を理解する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第24回	7月10日	1級試験対策10	実技試験対策2 オーダーに伴ったメイクアップを実施する	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第25回	7月17日	模擬試験1	メイクセラピー検定1級模擬試験(筆記)	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第26回	7月17日	模擬試験2	メイクセラピー検定1級模擬試験(筆記)	メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策
第27回	7月31日	メイクセラピー検定1級試験1	メイクセラピー検定1級試験(筆記)実施	
第28回	7月31日	メイクセラピー検定1級試験2	メイクセラピー検定1級試験(実技)実施	
第29回	8月7日	成績判定試験1	成績判定試験 筆記試験(選択問題、記述問題、論述問題)	
第30回	8月7日	成績判定試験2	成績判定試験 実技試験(オーダーに伴ったメイクアップ40分)	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%以上及び
①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)とそれに伴う活用場面について記述すること
②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				20	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点

2025年度シラバス

④授業態度			2位	1位		10	可(D): 69点~60点 不可(E): 59点以下	
⑤作品						なし		
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本 真弓	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	福本 真弓		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2023年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ総合		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	なし
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	6	時間数 ⁹	180	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	メイク講座開講における企画、構成、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を得得する科目。 今まで学んだメイクアップの知識、技術をお客様に伝える(教える)力を身に付ける メイク動画の作成及びメイク講座の開講ができる						
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクアップⅡ、メイクセラピーⅡ履修済み						
教科書名	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名	16 投影用プロジェクター/Pcorタブレット			関連サイト ¹⁷	Y I C 京都ビューティ専門学校ホームページ https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/		
関連前科目	18 メイクアップⅡ、メイクセラピーⅡ			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅰ		
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	水	オリエンテーション	授業の目標、目的、評価方法について理解する				オリジナルプリント
第2回	水	コミュニケーションスキル1	非言語コミュニケーションについてグループワークができる				オリジナルプリント
第3回	水	コミュニケーションスキル2	オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを使い分けることができる				オリジナルプリント
第4回	水	コミュニケーションスキル3	ジョハリの窓ワーク、伝える技術を用いてフィードバックができる				オリジナルプリント
第5回	木	メイク動画オリエンテーション	メイク動画作成の目的、目標について理解する				オリジナルプリント
第6回	木	メイクと色彩	メイクにおけるカラーの提案について理解する				オリジナルプリント
第7回	木	色彩ワーク1	色彩ワークができる				オリジナルプリント
第8回	木	色彩ワーク2	色彩ワークでの課題点の発見ができる				オリジナルプリント
第9回	水	メイクセラピー実習1	カウンセリングの重要性について復習ができる				オリジナルプリント
第10回	水	メイクセラピー実習2	オーダーカウンセリングでやりたい印象を引き出す				オリジナルプリント
第11回	水	メイクセラピー実習3	オーダーに伴ったメイクアップが半顔に施術し、クライアントにメイク方法を伝えることができる				オリジナルプリント
第12回	水	メイクセラピー実習4	フォローカウンセリングとメイクの課題点の発見ができる				オリジナルプリント
第13回	木	メイクに必要な色彩学1	色彩理論について説明ができる				オリジナルプリント
第14回	木	メイクに必要な色彩学2	パーソナルカラー、4シーズンの特徴について理解する				オリジナルプリント
第15回	木	メイクに必要な色彩学3	パーソナルカラー診断ができる(施術者)				オリジナルプリント
第16回	木	メイクに必要な色彩学4	パーソナルカラー診断ができる(被施術者)				オリジナルプリント
第17回	水	模写メイク1	顔分析とメイクアップの修整について理解する				オリジナルプリント
第18回	水	模写メイク2	メイクアッププランが作成できる				オリジナルプリント
第19回	水	模写メイク3	顔分析とメイクアップの修整を行い、模写メイクができる(施術者)				オリジナルプリント
第20回	水	模写メイク4	顔分析とメイクアップの修整を行い、模写メイクができる(被施術者)				オリジナルプリント
第21回	木	パーソナルカラー1	配色の方向性について理解する				オリジナルプリント
第22回	木	パーソナルカラー2	4シーズンのコーディネートについて理解する				オリジナルプリント
第23回	木	パーソナルカラー3	色彩心理について理解する				オリジナルプリント
第24回	木	パーソナルカラー4	カラーカードワークができる				オリジナルプリント
第25回	水	メイク講座の組み立て方1	メイク講座における注意点を理解する				オリジナルプリント
第26回	水	メイク講座の組み立て方2	メイク講座の内容を考案することができる				オリジナルプリント
第27回	水	メイク講座の組み立て方3	導入、展開、まとめの構成を考案する				オリジナルプリント
第28回	水	メイク講座の組み立て方4	資料、ビジュアルツールの作成準備ができる				オリジナルプリント
第29回	木	メイク動画作成1	メイク動画の内容を考案する				オリジナルプリント
第30回	木	メイク動画作成2	メイク動画の構成を考える				オリジナルプリント
第31回	木	メイク動画作成3	メイク動画撮影に必要な材料のピックアップができる				オリジナルプリント
第32回	木	メイク動画作成4	メイク動画撮影の準備を行う				オリジナルプリント
第33回	水	サロン運営1	メイクサロンの事業計画書作成することができる				オリジナルプリント
第34回	水	サロン運営2	メイクサロンメニューを考案することができる				オリジナルプリント
第35回	水	サロン運営3	サロンメニューの施術内容を考案することができる				オリジナルプリント
第36回	水	サロン運営4	サロンメニューの施術マニュアルの作成ができる				オリジナルプリント
第37回	木	メイク動画作成5	動画のメイクプラン作成できる				オリジナルプリント

2023年度シラバス

第38回	木	メイク動画作成6	動画のメイクが施術できる	オリジナルプリント
第39回	木	メイク動画作成7	動画の素材を集めることができる	オリジナルプリント
第40回	木	メイク動画作成8	動画のシナリオ作成ができる	オリジナルプリント
第41回	水	メイク講座考案1	メイク講座のレッスンプラン1を作成することができる	オリジナルプリント
第42回	水	メイク講座考案2	メイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
第43回	水	メイク講座考案3	メイク講座のレッスンプラン3を作成することができる	オリジナルプリント
第44回	水	メイク講座考案4	メイク講座のレッスンプラン4を作成することができる	オリジナルプリント
第45回	木	メイク動画作成9	動画作成、編集1ができる	オリジナルプリント
第46回	木	メイク動画作成10	動画作成、編集2ができる	オリジナルプリント
第47回	木	カラーメイク講座考案1	カラーメイク講座を考案することができる	オリジナルプリント
第48回	木	カラーメイク講座考案2	カラーメイク講座のレッスンプランが作成することができる	オリジナルプリント
第49回	水	メイク講座考案5	考案したメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第50回	水	メイク講座考案6	第49回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第51回	水	メイク講座考案7	課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第52回	水	メイク講座考案8	レッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第53回	木	メイク動画作成13	動画作成の編集を行い、課題点を発見する	オリジナルプリント
第54回	木	メイク動画作成14	動画の課題点の修整を行う	オリジナルプリント
第55回	木	カラーメイク講座考案3	カラーメイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
第56回	木	カラーメイク講座考案4	カラーメイク講座に必要な材料のピックアップできる	オリジナルプリント
第57回	水	メイク講座準備1	お出迎え～カウンセリング、サロンメニューの施術ができる（施術者）	オリジナルプリント
第58回	水	メイク講座準備2	メイクアドバイス～お見送りまでできる（施術者）	オリジナルプリント
第59回	水	メイク講座準備3	お出迎え～カウンセリング、サロンメニューの施術ができる（被施術者）	オリジナルプリント
第60回	水	メイク講座準備4	メイクアドバイス～お見送りまでできる（被施術者）	オリジナルプリント
第61回	木	メイク動画作成17	メイク動画撮影練習ができる（施術者）	オリジナルプリント
第62回	木	メイク動画作成18	メイク動画撮影練習ができる（被施術者）	オリジナルプリント
第63回	木	カラーメイク講座考案5	考案したカラーメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第64回	木	カラーメイク講座考案6	カラーメイク講座の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第65回	水	メイク講座準備5	考案したメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第66回	水	メイク講座準備6	第65回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第67回	水	メイク講座準備7	第66回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第68回	水	メイク講座準備8	メイク講座2のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第69回	木	メイク動画撮影・編集1	メイク動画撮影の流れを把握する	オリジナルプリント
第70回	木	メイク動画撮影・編集2	メイク動画の撮影を実施する（前半）	オリジナルプリント
第71回	木	メイク動画撮影・編集3	メイク動画の撮影を実施する（後半）	オリジナルプリント
第72回	木	メイク動画撮影・編集4	撮影した動画の編集を行う	オリジナルプリント
第73回	水	メイク講座準備9	考案したメイク講座3を実践することができる	オリジナルプリント
第74回	水	メイク講座準備10	第73回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第75回	水	メイク講座準備11	第74回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第76回	水	メイク講座準備12	メイク講座3のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第77回	木	メイク動画発表1	撮影したメイク動画の鑑賞をする	オリジナルプリント
第78回	木	メイク動画発表2	鑑賞したメイク動画のフィードバックができる	オリジナルプリント
第79回	木	カラーメイク講座考案7	考案したカラーメイク講座2を実践することができる	オリジナルプリント
第80回	木	カラーメイク講座考案8	カラーメイク講座2の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第81回	水	メイク講座実践1	お出迎え～カウンセリング、メイク講座が開講ができる（施術者）	オリジナルプリント
第82回	水	メイク講座実践2	メイクアドバイス～お見送りまでできる（施術者）	オリジナルプリント
第83回	水	メイク講座実践3	お出迎え～カウンセリング、メイク講座を受講することができる（被施術者）	オリジナルプリント
第84回	水	メイク講座実践4	メイクアドバイス～お見送りまでできる（被施術者）	オリジナルプリント
第85回	木	百貨店見学1	コスメカウンターブランド1でタッチアップを受けることができる	
第86回	木	百貨店見学2	コスメカウンターブランド2でタッチアップを受けることができる	
第87回	木	百貨店見学3	タッチアップ、接客を受けての振り返りができる	
第88回	木	百貨店見学4	商品のプレゼンテーションができる	
第89回	水	成績判定試験1	講座を開講することができる（成績判定試験）	オリジナルプリント
第90回	水	成績判定試験2	講座を受講することができる（成績判定試験）	オリジナルプリント

2023年度シラバス

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							21.
出席率80%以上及び ①成績判定試験：接客ロープレ、メイクカルテ、アドバイスシート作成 ④授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ⑤作品：ビジュアルツール、動画作成を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位			1位	40	秀(S)：100点～90点 優(A)：89点～80点 良(B)：79点～70点 可(D)：69点～60点 不可(E)：59点以下
②確認テスト						なし	
③課題レポート						なし	
④授業態度			2位	1位		30	
⑤作品		2位			1位	30	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本 真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	毛利 美保・福本 真弓		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)			
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ応用		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 エステティシャンコース		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	顔分析、肌トラブルカバー方法、左右対称バランス、ドレスアップに合わせたメイク法を教授する 印象管理、話し方、伝え方について教授する						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 エステティシャンに相応しいメイクアップの技術を身に付ける 30分でドレスに合わせたフルメイクができる						
受講条件 ¹³	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科エステティシャンコースに在籍していること						
教科書名 ¹⁴	該当なし			教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式、オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶	投影用プロテクター/PC/Googleクラスルーム			関連サイト ¹⁷	INFA国際ライセンスHP http://www.infa-japan.gr.jp/infa/		
関連前科目 ¹⁸	メイクアップ基礎			関連後科目 ¹⁹	エステ総合		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月15日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する/印象管理について理解する				メイク道具一式
第2回	4月15日	セルフメイク実習1	技術チェック・セルフメイク実施				メイク道具一式
第3回	4月22日	イメージメイク理論	エレガントメイクについて理解する				メイク道具一式
第4回	4月22日	セルフメイク実習2	エレガントイメージにセルフメイクができる				メイク道具一式
第5回	5月13日1限	セルフメイク実習3	エステティシャンに相応しいフルメイクができる※小テスト				メイク道具一式
第6回	5月13日2限	セルフメイクまとめ	施したメイクのポイント、修正点について説明することができる				メイク道具一式
第7回	5月20日	ベースメイク実習1	肌トラブルに合わせたベースメイク方法を理解する				メイク道具一式
第8回	5月20日	ベースメイク実習2	相モデルで肌トラブルをカバーしたベースメイクができる				メイク道具一式
第9回	5月27日	ポイントメイク実習1	骨格に合わせたアイブローの方法を理解する				メイク道具一式
第10回	5月27日	ポイントメイク実習2	モデルに合わせてアイブローを左右対称に描くことができる				メイク道具一式
第11回	6月3日	ポイントメイク実習3	モデルの目の形に合わせたアイメイク方法について理解する				メイク道具一式
第12回	6月3日	ポイントメイク実習4	モデルの目の形に合わせたアイメイクができる				メイク道具一式
第13回	6月10日	ポイントメイク実習5	リップ・チークのバリエーションについて理解する				メイク道具一式
第14回	6月10日	ポイントメイク実習6	モデルのパーツバランスに合わせたリップ・チークを施すことができる				メイク道具一式
第15回	6月17日	フルメイク実習1	モデルにエレガントイメージにフルメイクができる(施術者)				メイク道具一式
第16回	6月17日	フルメイク実習2	モデルにエレガントイメージにフルメイクができる(被施術者)				メイク道具一式
第17回	6月24日	フルメイク実習3	タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる(施術者)				メイク道具一式
第18回	6月24日	フルメイク実習4	タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる(被施術者)				メイク道具一式
第19回	7月1日	フルメイク実習5	タイム計測 課題点の発見と改善を行う(施術者)				メイク道具一式
第20回	7月1日	フルメイク実習6	タイム計測 課題点の発見と改善を行う(被施術者)				メイク道具一式
第21回	7月8日	エレガントメイク実習1	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクができる(施術者)				メイク道具一式
第22回	7月8日	エレガントメイク実習2	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクができる(被施術者)				メイク道具一式
第23回	7月15日	エレガントメイク実習3	モデルのイメージに合わせたフルメイクの課題点が修整できる(施術者)				メイク道具一式
第24回	7月15日	エレガントメイク実習4	モデルのイメージに合わせたフルメイクの課題点が修整できる(被施術者)				メイク道具一式
第25回	7月22日	エレガントメイク実習5	前回の課題点をふまえたエレガントメイクができる(施術者)				メイク道具一式
第26回	7月22日	エレガントメイク実習6	前回の課題点をふまえたエレガントメイクができる(被施術者)				メイク道具一式
第27回	7月29日	期末試験対策1	30分でエレガントメイクができる(施術者)				メイク道具一式
第28回	7月29日	期末試験対策2	30分でエレガントメイクができる(被施術者)				メイク道具一式
第29回	8月5日	成績判定試験1	成績判定試験実施 30分で所定課題のフルメイクを施し、メイクカルテの作成ができる				メイク道具一式
第30回	8月5日	成績判定試験2	成績判定試験実施 プレゼンテーション 施したメイクのポイント・修正点について説明ができる				メイク道具一式
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.							
①成績判定試験: 実技試験30分フルメイク ②小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する ⑤作品 所定の課題をクラスルームに提出 ⑥プレゼンテーション 施したメイクについて顔分析・修正ポイントについて説明が出来るか							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験			2位			1位	60
②確認テスト			2位			1位	10
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		10
⑤作品			2位		1位	1位	10
							成績評価基準
①成績判定試験							秀(S): 100点~90点
②確認テスト							優(A): 89点~80点
③課題レポート							良(B): 79点~70点
④授業態度							可(D): 69点~60点
⑤作品							不可(E): 59点以下

2025年度シラバス

⑥プレゼンテーション		2位	1位	10		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。					不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本 真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本 真弓	
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/	
更新履歴						
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)		
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度シラバス

科目名 ¹	サロン運営Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 エステティシャンコース		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる						
受講条件 ¹³	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること						
教科書名 ¹⁴	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶	施術用ベッド			関連サイト ¹⁷	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog		
関連前科目 ¹⁸	エステ (ボディ)			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅱ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月25日	オリエンテーション	授業の目的、目標、評価方法について理解する				オリジナルプリント
第2回	4月25日	サロン考案Ⅰ	事業計画書を作成することができる				オリジナルプリント
第3回	5月9日	サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内容を考案することができる				オリジナルプリント
第4回	5月9日	サロン考案Ⅲ	サロン施術内容を考案することができる				オリジナルプリント
第5回	5月16日	サロン広告Ⅰ	パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる				オリジナルプリント
第6回	5月16日	サロン広告Ⅱ	パンフレット発送準備ができる				オリジナルプリント
第7回	5月22日(木)	サロン広告Ⅲ	パンフレットを発送することができる。300件以上ポストイングができる				オリジナルプリント
第8回	5月22日(木)	サロン技術Ⅰ	接客、施術マニュアルを作成することができる				オリジナルプリント
第9回	5月23日	サロン技術Ⅱ	相モデルでサロンメニューの施術を行う(施術者)				オリジナルプリント
第10回	5月23日	サロン技術Ⅲ	相モデルでサロンメニューの施術を行う(被施術者)				オリジナルプリント
第11回	5月30日	サロン技術Ⅳ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる(施術者)				オリジナルプリント
第12回	5月30日	サロン技術Ⅴ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる(被施術者)				オリジナルプリント
第13回	6月6日	サロン技術Ⅵ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる(施術者)				オリジナルプリント
第14回	6月6日	サロン技術Ⅶ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる(被施術者)				オリジナルプリント
第15回	6月13日	プレオープンⅠ	サロン営業準備を行う				オリジナルプリント
第16回	6月13日	プレオープンⅡ	教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる				オリジナルプリント
第17回	6月19日(木)	オープン準備Ⅰ	プレオープンでの課題点、改善点の共有を行う				オリジナルプリント
第18回	6月19日(木)	オープン準備Ⅱ	お出迎え～お見送りまでの流れを実施する				オリジナルプリント
第19回	6月20日	サロン営業Ⅰ①	営業1日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第20回	6月20日	サロン営業Ⅰ②	営業1日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント
第21回	6月27日	サロン営業Ⅱ①	営業2日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第22回	6月27日	サロン営業Ⅱ②	営業2日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント
第23回	7月4日	サロン営業Ⅲ①	営業3日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第24回	7月4日	サロン営業Ⅲ②	営業3日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント
第25回	7月11日	サロン営業Ⅳ①	営業4日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第26回	7月11日	サロン営業Ⅳ②	営業4日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント
第27回	7月18日	サロン営業Ⅴ①	営業5日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第28回	7月18日	サロン営業Ⅴ②	営業5日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント
第29回	7月25日	サロン営業Ⅵ①	営業6日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント
第30回	7月25日	サロン運営まとめ	営業6日目 施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出(成績評価)				オリジナルプリント
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.							
出席率80%以上及び ①接客技術: お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート: サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べる事ができる ③授業態度: 提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度: 施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下乗の配分%で換算し、総点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①接客技術					2位	1位	25
②課題レポート		2位	1位				25
③授業態度				1位	2位		25
							秀(S): 100点~90点 優(A): 89点~80点 良(B): YIC京都ビューティ専門学校

2025年度シラバス

④サロン貢献度			1位	2位		25	可(D): 69点~60点 不可(E): 59点以下	
⑤作品						なし		
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	サロン運営Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	1月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること							
教科書名	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント			
設備名・機器名	施術用ベッド、施術用鏡、施術用机			関連サイト ¹⁷	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog			
関連前科目	サロン運営Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅲ			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		オリエンテーション	授業の目的、目標、評価方法について理解する (全コース)				オリジナルプリント	
第2回		サロン考案Ⅰ	事業計画書を作成することができる (全コース)				オリジナルプリント	
第3回		サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内容を考案することができる (全コース)				オリジナルプリント	
第4回		サロン考案Ⅲ	サロン施術内容を考案することができる (全コース)				オリジナルプリント	
第5回		サロン広告Ⅰ	パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる (全コース)				オリジナルプリント	
第6回		サロン広告Ⅱ	パンフレット発送準備ができる (全コース)				オリジナルプリント	
第7回		サロン広告Ⅲ	パンフレットを発送することができる。300件以上ポストイングができる (全コース)				オリジナルプリント	
第8回		サロン技術Ⅰ	接客、施術マニュアルを作成することができる (全コース)				オリジナルプリント	
第9回		サロン技術Ⅱ	相モデルでサロンメニューの施術を行う (施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第10回		サロン技術Ⅲ	相モデルでサロンメニューの施術を行う (被施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第11回		サロン技術Ⅳ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる (施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第12回		サロン技術Ⅴ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる (被施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第13回		サロン技術Ⅵ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる (施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第14回		サロン技術Ⅶ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる (被施術者) (全コース)				オリジナルプリント	
第15回		プレオープンⅠ	サロン営業準備を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第16回		プレオープンⅡ	教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる (全コース)				オリジナルプリント	
第17回		オープン準備Ⅰ	プレオープンでの課題点、改善点の共有を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第18回		オープン準備Ⅱ	お出迎え～お見送りまでの流れを実施する (全コース)				オリジナルプリント	
第19回		サロン営業Ⅰ①	営業1日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第20回		サロン営業Ⅰ②	営業1日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第21回		サロン営業Ⅱ①	営業2日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第22回		サロン営業Ⅱ②	営業2日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第23回		サロン営業Ⅲ①	営業3日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第24回		サロン営業Ⅲ②	営業3日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第25回		サロン営業Ⅳ①	営業4日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第26回		サロン営業Ⅳ②	営業4日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第27回		サロン営業Ⅴ①	営業5日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第28回		サロン営業Ⅴ②	営業5日目 施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第29回		サロン営業Ⅵ①	営業6日目 ご予約いただいたお客様に施術を行う (全コース)				オリジナルプリント	
第30回		サロン運営まとめ	営業6日目 施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出 (成績評価) (全コース)				オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
出席率80%以上及び ①接客技術：お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート：サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べる事ができる ③授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度：施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で換算し、総点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術					2位	1位	25	秀 (S) : 100点~90点
②課題レポート		2位	1位				25	優 (A) : 89点~80点

2025年度シラバス

③授業態度			1位	2位		25	良(B) : 79点~70点 可(D) : 69点~60点 不可(E) : 59点以下
④サロン貢献度			1位	2位		25	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				